

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 1日

千葉県知事

熊谷 俊人 殿

提出者 〒299-1141

住 所 千葉県君津市君津1番地

氏 名 日鉄環境株式会社 建設事業本部
取締役常務執行役員 建設事業本部長
高野 良広

電話番号 0439-52-1288

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日鉄環境株式会社 建設事業本部
事業場の所在地	千葉県君津市君津1番地
計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：建設業 中分類：総合工事業
② 事業の規模	前年度の元請完成工事高：6,000百万円
③ 従業員数	139人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙3参照

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物について現場での分別に改善の余地がある。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・混合廃棄物について現場分別の促進を継続する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） ・自ら行う産業廃棄物の再生利用はない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） ・今後も自ら行う産業廃棄物の再生利用はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
（これまでに実施した取組） ・自ら行う産業廃棄物の中間処理はない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
（今後実施する予定の取組） ・今後も自ら行う産業廃棄物の中間処理はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組) ・自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分はない。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後も自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分はない。	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 別紙4参照

①現状	【前年度（令和 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t t
	再生利用業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t t
	(今後実施する予定の取組)	
※事務処理欄		

(第6面)

備考

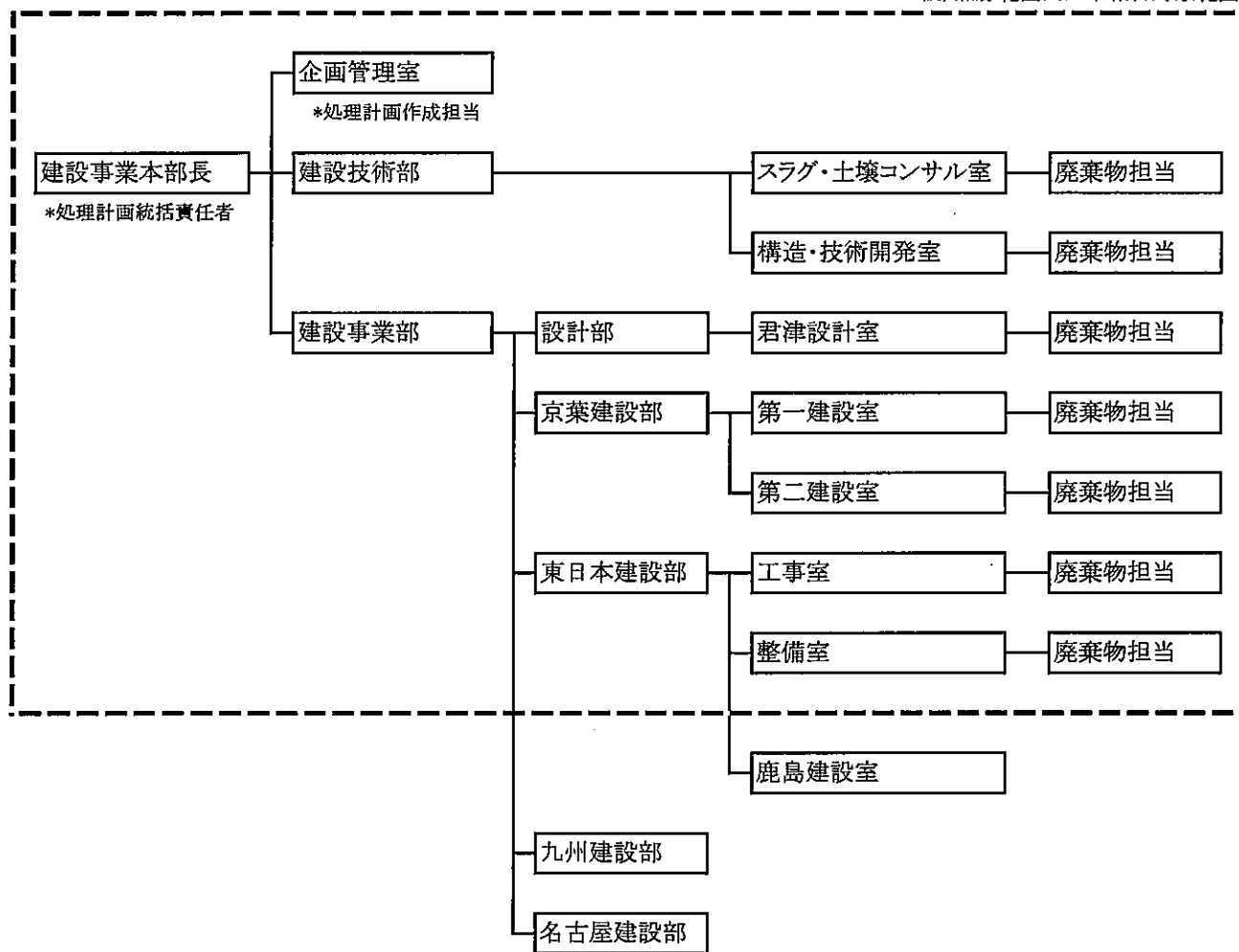
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程



別紙2 管理体制図

注) 点線範囲内が本報告対象範囲



別紙3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】														
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
①現状	排出量	3.148t	0.292t	0t	0t	2.1t	96.795t	31.62t	115.94t	730.08t	4841.34t	94.838t	74.828t	23.675t
(これまでに実施した取組み) ・産業廃棄物抑制の観点から施工方法、使用機材等の検討を実施している。 ・廃棄物教育等を通じて産業廃棄物抑制の確認や教育を実施し啓蒙活動に勤める。														
【目標】														
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
②計画	排出量	1500.0t	0.25t	0.25t	0.5t	5.0t	75.0t	50.0t	50.0t	0.0t	8000.0t	100.0t	60.0t	30.0t
(今後実施する予定の取組み) ・産業廃棄物抑制の観点から施工方法、使用機材等の検討を継続実行する。 ・廃棄物教育等を通じて産業廃棄物抑制の確認や教育を継続して実施し啓蒙活動に勤める。														

別紙4 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和4年度)実績】														
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
①現状	全処理委託量	3.148t	0.292t	0t	0t	2.1t	96.795t	31.62t	115.94t	730.08t	4841.34t	94.838t	74.828t	23.675t
	優良認定処理業者への処理委託量	3.148t	0.292t	0t	0t	2.1t	96.795t	0t	115.94t	0t	92.85t	92.898t	74.828t	23.175t
	再生利用者への処理委託量	0.638t	0t	0t	0t	0t	96.795t	31.62t	45.94t	730.08t	4836.18t	0.12t	0t	0t
	認定熱回収業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	2.2t	0t	0t	0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t	0t
(これまでに実施した取組み)														
<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の種類に応じた委託契約(できる限り再生利用業者を優先)を実施している。 ・再生できない産業廃棄物は熱回収できる業者に委託している。 														
【目標】														
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	建設混合廃棄物	その他混合廃棄物	石綿含有廃棄物	
②計画	全処理委託量	1500.0t	0.25t	0.25t	0.5t	5.0t	75.0t	50.0t	50.0t	0.0t	8000.0t	100.0t	60.0t	30.0t
	優良認定処理業者への処理委託量	1480.0t	0.25t	0.0t	0.0t	1.0t	75.0t	0.0t	50.0t	0.0t	0.0t	90.0t	60.0t	27.0t
	再生利用者への処理委託量	1480.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	75.0t	50.0t	25.0t	0.0t	8000.0t	10.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者への処理委託量	20.0t	0.0t	0.25t	0.5t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t	0.0t
(今後実施する予定の取組み)														
<ul style="list-style-type: none"> ・産業廃棄物の種類に応じた委託契約(できる限り再生利用業者を優先)を実施を継続する。 ・再生できない産業廃棄物は熱回収できる業者への委託を継続する。 														